ユーモアスピーチ船橋

ジョークは暮らしの調味料・ユーモアは人生のかくし味 144 回船橋ユーモアスピーチ

2018年4月12日(木) 3分間スピーチ

スピーチテーマ 「咲く」、「不透明」

ロングスピーチ

「玉子のはなし」 田谷 正明さん 「北海道の旅 追想」 長嶋 秀治さん

3月8日の参加者:山田、<mark>松本</mark>、松永、田谷、工藤、はらだま、入江、飯野、原田、<mark>早瀬</mark>、町田、川田、稲葉、植野、長嶋 15名

2018 (H30) 年 4 月 12 日発行

主催: NPOシニア大楽

ユーモアスピーチ共和国・船橋支部

支 部 長 : **長嶋秀治 043-261-5832**

発 行 者:長嶋秀治 編集&事務局:町田雅和

267-0066 千葉市緑区あすみが丘

5-26-7 T/F 043-294-2911

mac555new@ybb.ne.jp

参加費 500 円 (入会金 1000 円)

開催日と場所

毎月第②木曜日 14:00~16:30

会場「ニッセイ・ライフプラザ船橋」 船橋市湊町 2-1-1 日生船橋ビル 1F

ロングスピーチ

「手術体験記 (患者の立場で)」

山田 正國さん

頸動脈にクラープが溜まり、頸動脈の 切開手術を受けることになり、先ず手術 のできる病院」をかかり付け医から紹介 状をもらい、紹介された病院に行き、担 当医に診断および手術の説明を受ける 手術の方法、リスク費用など、またその まま放置した場合のリスク、など

医師の回答は、そのまま放置するれば 半年以内に頸動脈は完全に詰まり、危険 な状態となる。確率は50%など



検査のために入院 心電図、脳、頸動脈のMRI検査、など受診、担当医曰く 頸動脈が悪いだけでなく心臓が相当に悪く、このままでは手術に耐える体力が不足し、全身麻酔から覚醒できないおそれがあり、循環器内科医及び麻酔医の承諾がない限り、頸動脈手術はできない。と云われ急遽循環器内科医の検査を受けた。

その結果、心臓の不整脈、冠動脈の狭窄、心臓弁膜の機能低下で充分に弁が閉まり切らないなどと診断され、更に詳しく診断するため、鼠径部からカテーテル挿入し、 内視鏡によって詳しく調べた。

そこでカテーテルを挿入してその中に内視鏡を挿入し心臓弁、その周りの血管の状態、狭窄部など診察してくれた。 その結果頸動脈切開手術に充分耐えられるだろうとの診断を受け、手術を受けることになった。

手術は正副の執刀医と麻酔医、心電機能、呼吸器機能、血圧計測など監視する看護師など越総勢7名くらいのメンバーに囲まれ、始めましょうかの執刀医の合図で始まった。

あとは麻酔が効き 何時間かの後 麻酔から覚醒した。

手術場所は何の痛みもなく、ただ激しく動かないよう、手足は拘束バンドでベッドに縛り付けられた。

麻酔が身体から抜けるまでは、無地の病室の白壁に地図のような模様が見えたが、 退院時その壁を見れば何も模様はなく幻影だったのだと判断した。

翌日には 鼻 排尿 などに挿入されていたカテーテルは外された、麻酔は完全に 覚めたが、術部には外科的な傷みは皆無であった。

食事も普通食、三日後からシャワーもよし、トイレも自力で歩行、 傷口には絆創膏が貼ってあるだけ、執刀医の回診察で出血がなければ、予定通り退院できますと 8日後に退院した。

2 心臓冠動脈ステント挿入

頸動脈切開手術で体力消耗したので、中2か月おき 正月の10日に 前記の頸動脈手術の事前検査で見つけた冠動脈狭窄改善のステント挿入治療は心臓カテーテル 法により行われた、

基本的に予備検査のカテーテル法と同じ方法と聞き、但し今度は手頸からカテーテルが挿入された、また局部麻酔であるから、医師とは会話をしながら、進められた。40分ほど時間が経過したころ、、

山田さんの血管相当老化しており、短いステント挿入すると、その際が損傷する惧れがあり、冠動脈全長にわたる 10 c mにわたるステントを挿入するので、了承されたい、また長いステント、なので

腕からの挿入は困難であり、鼠径部からに変更したい了承されたいと、術中であり、返事は(はい)と答える以外にない。鼠径部にも局部麻酔しカテーテル挿入、ステント入れる冠動脈入れ易いように風船で冠動脈を予め拡張する。 血管が破裂するような苦痛を感ずると医師に伝えたら、はいこれで終わりですと返事がかえってきた。心臓カテーテルを腕及び鼠径部双方抜き取り、動脈の穴を閉じ傷口には絆創膏を張り、終了 今度は局部麻酔だから、夕飯から通常の食事ができた、翌日午後退院

ロングスピーチ

「故事ことわざ現代風解釈」

早瀬君子さん

☆ 「ことわざ」が世界全体でいつ頃から使われていた のか詳しくはわからないらしいが、日本では平安時代初 期に「世俗諺文(せぞくげんもん)」ということわざ辞 典があり、「良薬は口に苦し」「千載一遇」という現代 も通用し、使われていることわざが載っている。

☆ 「ことわざ」はその時代を背景にした人々の営みの中で、多くの人の実体験がもとになって生み出され、いつしか教訓めいた言葉となって流布し、その多くが現代に至るまで言い伝えられ、使われている。従って、何百年も前の時代の教訓が現代の社会や人々に当てはまらなくなってきているのは当然のこと。



そんな現代ではもう通用しなくなってしまった「ことわざ」、現代的解釈で使われる「ことわざ」の "妙" を語らせていただきました。

通用しなくなった「ことわざ」

* 花は折りたし梢は高し(高嶺の花)

今は、学生でもアルバイトで稼ぎ、欲しいものは何でもスマホで直ぐに手に入れる。クレジットカードもあるし、指の操作ひとつで、世界中の何処からでも欲しいものを手に入れることが出来るようになった。

* 聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥

今は、人に聞かなくてもネットで何でも調べられるから、一時の恥もかかなくて 済む。

* 遠い親戚より近くの他人・・・ 死語 なったことわざがまた通用する時代に。 今は、隣近所とは疎遠が多く、正に "隣は何をする人ぞ" になってしまった。 だが最近は親が高齢化して、その面倒をみるために同居したり、近隣に住む娘や 息子が増えている。つまり、近くに親類縁者をおいて頼りにするということわざが 又通用するようになった。

現代的解釈で使われるようになった「ことわざ」

* 情けは人の為ならず

今は、人に情けをかけると人に甘えるようになるから、本人の為には情けをかけ ないほうがよい。

* 袖触れ合うも多少の縁

人とすれ違う際にうっかり袖が触れたりすると、言い掛かりをつけられたりして トラブルになるから気を付けた方が良い。

* 遠くて近きは男女の仲、近くて遠きは田舎の道⇒遠くて近きは宇宙旅行、近くて 遠きは北朝鮮 「遠くて近きは男女の仲」とは今も昔も変わらないというのが面白 いが、今は更に距離など全くなくなってしまったように思える。幼稚園児からバレ ンタインデーがあり、老若男女が何の躊躇いもなく堂々と気持ちを告白することが 当たり前の時代になった。既婚者であれ、歳の差や身分の差も問題外となり、携帯 電話の出現ですれ違いも悲劇もなくなり、今や男女の仲を遠くしているハードルは 何一つなくなった。その昔の男女が乗り越えた "遠さ" にはドラマチックな背景 があったからこそ「ことわざ」になったのではないだろうか。

3分間スピーチダイジェスト テーマ「脳トレ」、「調味料」

田谷正明:「脳トレ」

10年も前のこと、家内が急に介護福祉の資格を取るための勉強を始めました。理 由を聞くと「7歳年上の貴方は間違いなく私より早くヨレヨレになるはずです。だか らその貴方を面倒を見るためです」。それ以来、家で夕食時にダラダラ酒を飲んでい ると「脳トレ」の問題を持って来るようになりました。これが実に難しい、自慢では ありませんが全くわからない。「脳トレ」は本当に頭の老化を防ぐ効果があるのだろ うか?逆に脳細胞を破壊するのではないだろうか・・・家内が初めて私にやらせた問 題は・・・「前÷せ=6] 「名÷じ=?]

山田正國:「調味料」

小生糖尿病があるので、塩分少なめの特別調理の食事のため、自分で料理を作って いる。ところが、味覚も退化しているので、軽量スプーンで1g、2gなど塩の目方を 量で覚え、それを調理中の食材に入れるようにしている。あまり味が判らず、嗅覚も 低下、味噌汁の煮立つ香もわからない、全く味気ない

はらだま:わたしの失敗談「他人のふり見て・・・」

過日、私たち夫婦は義兄の法事で岡崎まで帰りました。行きの船橋駅のホームである 老夫婦のあたりかまわぬ罵り合いを見ました。夫の方が切符を亡くしたようです。

「どうしてなくすのよ、ちゃんとポケットに入れたでしょ」

「無いんだよ、どこにやったかなあ」

「よく探しなさいよ、服は?ズボンは?カバンは見たの?ボケっとしてちゃ駄目よ。 いつもあなたはこうなんだから、ちゃんと探しなさいよ」

「うるさいよ、お前は」

「お前とは何よ、●★◇◆▽○・・・」

このやり取りを横目で見ながら「ああいう姿は見たくないね、俺たちもお互い頑固になるから気をつけような」と言って通り過ぎた。

「ひかり」が豊橋駅について、ホームから登るエスカレーターが長蛇の行列、家内が 東京駅で乗車券を取り忘れたので、改札で時間がかかると思い、

「俺は後から行くから、先に行ってろ。先に行け」と大声で怒鳴った。家内は先に行ったがすぐ戻ってきて何か言ってる、私は耳が遠いのでよくわからない。

「いいから先に行け、とにかく先に行け、時間がかかるんだから」と大声で怒鳴る私。 エスカレーターの右側は通常、歩いて先に行くことが出来るのだが、ここでは駅員が 「エスカレーターの右側は歩かないでください」と何度も言ってるという。

「早く行けったら行け・、行けよ」と並んでる人のことなんか目に入らないで怒鳴り続ける私。5分ぐらいかかってなんとか改札口を出た。乗り換えの列車では家内は怒って一緒の座席には座ってくれなかった。そんな私たち夫婦ですが3月末に旅行に出かけます。泊る所や飛行機は同じですが、果たして一緒に帰ってこれるか、心配です。

植野晏生:「空海」

映画「空海」を観た。終わって女房と顔を見合わせた。期待していたものと何か違う。映画の前に、テレビ「世界ふしぎ発見」で空海を見ていた。①留学資金を用意できた理由、②面識のない空海が、密教の後継者に選ばれた理由、③中国語が話せた理由、について、空海研究の権威:四天王寺大学の藤谷助教授が説得力のある説明をしていたからだ。①水銀を渤海に売って留学資金に、②前もって手紙や論文を送っていた、③奈良・比曽山寺で渡来僧から語学を学んだ、と。②③は現代と同じだ。…そうか忘れていた。映画の原作は夢枕獏だった。映画はコミックなのだ。〔楊貴妃と取り巻く男たちの物語やった。(あるいは主役は黒猫かも。)〕

松永成三郎:「脳と脳トレ」

人の脳は体重の2%くらいですが、消費カロリーは全体の約20%も消費します。しかも全部をグルコースで摂ります。それだけ脳はいつもせっせと働いている訳ですね。脳は大きく分けると、大脳と小脳に脳幹部に分けられ、それぞれ大切な役割を担っています。すなわちわざわざ、パズルや数独とかクイズ解きなどしなくても、脳はしっかりと24時間頑張って働いている訳です。年取って一番大切なのは孤独にならないことです。いつも誰かとコンミニケートを保つように努めましょう。「いつも脳トレ、死ぬまで脳トレ」で行きましょう。

飯野 望:「脳トレ」

脳の若返りは、絵を見て考えを巡らすことが一番いいようで、 馬からカエルへ、帆掛け船から橋へ、少女からおばあさんへ、 牛からペンギンへ・・・これであなたも若返りました。

稲葉勝宏:「平昌オリンピック」

冬季オリンピックは夏に比べて興味が無くあまり見なかったんですが、一旦見始める と特に国対抗は力が入りますね。パシュートはチームプレーが命で日本チーム3人の 運然一体となった滑走は芸術的でした。その対極が一人をおいてきぼりにした韓国で すね。それにしても日本はメダルをとった陸上リレーもそうですが個人の力を越える チームワークの素晴らしさに改めて感動しました。しかし何と言っても話題は女子カ ーリングでしょう。私の所属している大久保の川柳サークルでも「そだね」は今年の 間違いなく流行語大賞になると盛り上がっておしゃべりが止まりませんでした。 そこで私がその言葉もあの可愛い娘達だから評判になったんで我々爺さん連中が言 っても全然可愛くないでしょうと意見しましたら皆が「そだね」

長嶋秀治:「脳トレ」

イギリスで「孤独担当相」という閣僚ポストを新設するという。人口 6500 万人う ち 900 万人が孤独を感じており、65 歳以上のうち 360 万人が「TV が主な友達」とい う現状を憂慮しての事。孤独でいることは一日にたばこ 15 本を吸うのと同じくらい 健康に悪いという。

OECD が 21 か国を調査したところ、「友達や同僚と過ごす時間があまりない」と答えた 男性の割合は日本がトップ。女性もメキシコに次ぐ2位と世界で最も孤独な国の一つ。 イギリスより日本の方が深刻だ。ユーモアスピーチに参加すれば脳の活性化ができ、 孤独も解消できる。

工藤文夫:「勘違い・思い違い」

加齢とともに、勘違い・思い違いは日常茶飯事ですが、先般の冬季「オリンピック」 でも以下のような間違いを、してしまいました。

- 1) スノーボードの金メダル獲得のショーン・ホワイトが、「次回は 2020 年の東京 オリンピックで会いましょう | との発言が、2022年の北京の間違いでは?と思った が、発言は正しく、「スノーボード」ではなくて「スケートボード」の話であった。
- 2) フギュアースケートの羽生結弦選手の金メダルと将棋の羽生名人が(当時) 藤井四段 に敗れた記事がスポーツ新聞に同時に掲載され、スケートのハニュー選手は「羽入| と思いきや、両方とも「羽生」は誤字?も、どちらも正しく、思い違いをしていた。
- 3) 女子スピードスケートのマススタートで、姉の高木選手が金メダルを獲得。しかし パシュートや他の種目で、妹の大活躍が印象に残っていたためか、お姉ちゃんが TV に 映っているので、妹の〈美帆〉の間違い?と思いきや、お姉さんの高木菜那で正解。 勘違い・思い違いの連続でした。

町田雅和:「脳トレ」

脳トレと言えば、多湖輝の「頭の体操」、今でも書棚に14冊収まっている。現在実 施している脳トレは落語の暗記とテニス。テニスに関して、運動が脳トレになるとい う訳でなく、100名いるテニス仲間の名前が中々覚えられず、知らない人とコートで 会うたびに名前を確認することが脳トレになっている、皆さんもメンバーの多い趣味 のサークルに入って脳トレしませんか?

入江清之:「脳トレ」

この会の皆さんはノミニュケーション、ユーモア、笑いそして人付き合い等に長け、 常に左脳の言語野と右脳を鍛えていますので、皆さんの脳機能は心配ないです。脳機 能維持には脳トレより運動の方がベターだそうです。 e.g. 週に2~3日、1日に 30分強のウオーキングやストレッチで酸素摂取量が維持され、酸素を体内へ送り込 む力が保たれて、脳の血流が良くなって脳機能が維持されます。私のお勧めの脳トレ は五十音、早口言葉そして長音の発音・発声練習を毎日2~3回大きな声を出して行 い、それに月1回のユーモアスピーチを皆さんへ披露することで皆さんの脳は「NO PROBLEM! です。

原田公平:「小さくて大きな外交官」

明治の外交官、「日清・日露戦争の外務大臣、小村寿太郎は、150 センチというチ ビだった。清朝主催のパーティで、182 センチの清朝トップの李鴻章が小村のところ に来て、「そなたは日本国のように随分と小さい、日本人はみんな貴官のように小さ いのですか」と、聞かれた。小村は、「はい、ちいそうございます。しかし、閣下の ような大きなものもおりますが、大きな仕事はできません」。「なぜですか」。「わ が国では独活(うど)の大木と申します。また、大男総身に知恵が回りかね、ともい い、大事な仕事はさせません」。ことわざを巧みに使った外交官、この方は、「ポー ツマス講和条約」で、ロシアに対して、一歩も引かず、大仕事をしました。



☆スピーチダイジェスト送付先(1週間以内に)mac555new@vbb.ne.ip

予告:5月船橋ユーモアスピーチの会

5月10日(木) 14時 ニッセイプラザ1階 会議室 ロングスピーチ 工藤 文夫さん「カレーライスのこぼれ話」 植野 晏生さん「初めての変化朝顔の栽培」 テーマ「心配」、「レンタル」